

# 大學法への斗ひはここにあり

## 1 揭示権を與へよ

諸君の新制授業内容や、學子校経営のデタラメに反對する「七三」には、學子生課の検印といふシロモノが待ちかまへてゐる。若し検印が在りても、検印をもちらふことは、揭示権をもちらふ事だから、學校当局の都合の悪いこととは一切許さぬわい。

そこで、諸君は先づその自由な叫びを自由に掲げうるやうに先づみんなを押しかけて行つて、揭示権をカクトクしよう。

★不当人事、不当彈圧反對

★教員、學生に政治活動の完全な自由を與へよ。

## 2 時間割を改めろ

オカナリな、イイカゲンな時間割で明治の兄弟達は、ハイした。學校権力に利用されてゐる。新制大學三年では一週間に十時間以下の授業を單位をテツチ上げられた。他の新制學部でも一般教養科目にあまならない不満がおきあがつてゐる。新制全体として、上りの欠席で落第、これが大學法反對を具体化して、差当つての目標である。即ち、一才では出欠でギョーギョーしめてゐる。アルバイト學生を無視して居る。だから、今春日井教授がびいた様を。

「アルバイト學生は休校せよ」との暴言が出るのだ。

ところが、登校しても旧制全体として、休講が戒法多い。そして、授業内容がデタラメだ。だから、今こそ、女子部からホイモットを喰つた野放教授やうな休講と漫談講義がいっまでも存続するのだ。そのため、手近かを裏面へ

「時間割を改めろ」の運動からはじ  
めよべきた

### 3 軍閥教育絶対反対

政大二年では、春日井教授が

「日本では、どう一つも南方の二三  
の島嶼が必要である」との東  
條バリの侵略理論の再現を  
取り、産経三年では、経済政策を堅持し  
井上教授は、敗戦の原因を

「日本は、せめて此支五省と滿洲  
ぐらゐでカマンシせばよかつたのだ」

と述べ、これ亦大東亞者官僚の復讐を策  
した。未だにファシズムの迷夢を止めか  
る教授にも、温存を黙許し、進歩的教授を  
首切る様な専制校力がある。又そのデ  
クラメを権力を許容する。

大學生法を絶対粉碎すべし  
である。かゝる東條の遺毒をうけつた非  
良心的教授をわねくは、手近かな斗  
争目標の第三として取り上げねばならぬ。

★教育、植民地化絶対反対。

★公安條令絶対反対。

★千代田区を植民地のセンター  
にするな。

★明治を守る会を走つてくれ。

一九四九年五月二十八日

日本共産党

明大細胞